

## 令和6年度 教職実践研究交流会 2024年8月3日

本年度は、5分科会に分かれて現院生が研究についての中間発表を行いました。多くの参加者から質問やアドバイスをいただきました。その後の全体会では、「香川大学教職大学院での学びをみつめて」と題して、修了生による語り合いが行われました。また、各コースの修了生と現院生との交流会も行われました。



## 修了生、院生の活躍を紹介します ～理論と実践の往還～

特別支援力開発コース 令和2年度修了生 三垣 優子（浅口市立金光中学校）（指導教員：山本 木ノ実）

日本教職大学院協会ジャーナル 部門B：実践研究報告に論文が掲載されました。

「特別支援教育の視点における小中連携の効果的な方略－実践につながる支援の共有のあり方－」

〈要旨〉小中一貫教育開始に向けて、X市は様々な小中連携の取組を行ってきたが、特別支援教育に関しては形式的な引継ぎに留まっており、中学校生活への不適応やつまずきの蓄積による問題行動・不登校等の生徒指導上の課題への対応に苦慮している現状にあった。このことを踏まえ、小中教員間での実践につながる支援の共有の在り方を検討した。その結果、相互乗り入れを活用した小中協働の実態把握、具体的な支援策の共有・実践、小中合同ケース会議の実施等が有効であることが推測された。

授業力開発コース 吉川 雅弥（指導教員：杉野本 勇気）

奈良教育大学で行われた全国数学教育学会第60回研究発表会において、タイトル「代数と幾何が連動する余弦定理の教材開発：図形の任意性を考察する数学的活動の設計」で、口頭発表を行いました。高等学校数学科の現状としての課題である、図形的な意味が理解されないままに形式的な代数処理だけで定理が導かれてしまっている点について、高校生が数学的な内容を多面的に捉えられる教材を提案しました。

授業力開発コース 山川 春路（指導教員：松島 充）

東京学芸大学で行われた日本数学教育学会第12回春期研究大会において、タイトル「オープンエンドアプローチによる主体的な学習の理論的考察：教授学的状況論の視座から」で、ポスター発表を行いました。また全国数学教育学会第60回研究発表会において、タイトル「多様性を活かした指導による主体的学習の実現：教授学的状況論の視座から」では、口頭発表を行いました。

これらの成果により、2名は令和6年度第1回香川大学学術研究活動表彰を受けました。



2名の院生が、日本道徳性発達実践学会第23回同志社大会（台風によりオンライン開催）において、口頭発表を行いました。今後、それぞれの研究成果をもとに、授業実践を行う予定です。

授業力開発コース 時岡 海大（指導教員：植田 和也）

タイトル「道徳科の葛藤場面の視覚化における役割演技の効果に関して」

授業力開発コース 前川 昂志朗（指導教員：清水 顕人）

タイトル「小学校道徳科の教科書に見られるいじめの問題に関する教材の研究－中心的な発問に着目して－」

## 授業力開発コース 新しい探究実習がスタートしました

授業力開発コースは、授業の観察や実践を通して、授業力向上につながる構想力・実践力・省察力を磨くコースです。これまで行ってきた附属学校園での約2週間の探究実習に、選択型の実習を組み合わせ、新たな探究実習をスタートしています。指導教員と相談しながら、院生自身が必要な研修を選択し、実習に取り組んでいます。実習後は、指導教員との振り返りにより、省察を深めています。

探究実習に参加した院生の声を紹介します。

### 小学校の研究授業・授業討議に参加しました

授業力開発コース 佛圓 美優

今回、高松市立花園小学校で道徳を、直島町立直島小学校で外国語の授業を参観させていただきました。

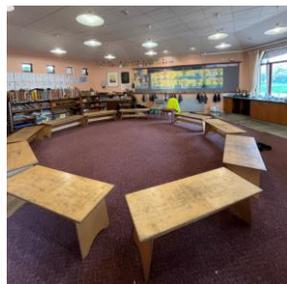
道徳では「雨のバス停留所」について、どうしてみんなバスに乗りたいたいという思いは同じなのに、それぞれの登場人物のとった行動が違ったのか考えていました。担任の先生は、児童のつぶやきに耳を傾け、意図的な指名を行い、児童の意見を価値づけることで道徳的価値に迫っていました。児童がお互いの意見を認め合い気兼ねなく発言する姿や、担任の先生と児童、児童同士の関係から、共感的な人間関係づくりや温かな学級風土の大切さを学びました。また、外国語では、新しく来たALTの先生に直島のことを知ってもらうためにグループで話し合いながらスライドづくりに取り組んでいました。児童が英語によるコミュニケーションを楽しむための仕掛けが、板書や活動の中に散りばめられており、児童はそれらをヒントにして活動していました。授業討議では、児童がより主体的に相手意識・目的意識を持って話すにはどうしたらいいか考えました。討議する中で、児童が授業を受ける姿を想像し、授業へのわくわくした思いを大切にすると同時に、本時で何を押さえるのか明確にすることの重要性を感じました。

授業参観や討議会への参加は貴重な経験になりました。実際に授業を見て、現場への想いを強めるとともに、さらに大学院で学びを深めていこうと意欲が高まりました。

### 海外の学校訪問・教員との交流を行いました

授業力開発コース 藤本 登喜子

9月にニュージーランドを訪問し、Rudolf Steiner Schoolにて授業参観をさせていただきました。2年生のクラスでは、マオリの言語や文化に親しむ授業が行われていました。まるで音楽の授業かのように、先生が歌い出すと子どもたちも一緒になって歌い、簡単なハカを踊ってみたり、フルーツバスケットのようなゲームの中にマオリ語を入れたりしながら、自然と楽しく身体でその文化等を学んでいる様子が印象的でした。聞いてみると、その学校では、小学校1年生から週1時間行っているそうです。様々な国籍の、今ここで過ごしている子供たちが、そこの文化を知りそれに親しむ時間を作ることで、その土地への感謝や尊敬の念を育むことに繋がるのかなど、感じました。異学年での授業や、自由進度学習のような授業も参観でき、多くの学びがありました。



## 2025年度 大学院入試日程等のご案内

### B日程

出願期間：2024年10月24日(木)～11月1日(金)

学力試験日：2024年11月30日(土)

### C日程

出願期間：2025年1月6日(月)～2025年1月16日(木)

学力試験日：2025年2月1日(土)

入試日程は、左の通りです。入試の詳細については『学生募集要項』で確認してください。学務係で配付しています。また、ホームページでも案内しております。個別の質問等については、ホームページから「教職大学院説明会特設web会場」に移動し、問い合わせフォームをご利用ください。

